



まつど未来づくり会議

～松戸の強みを活かした未来への指針づくり～

第3回ワークブック

平成21年 月 日

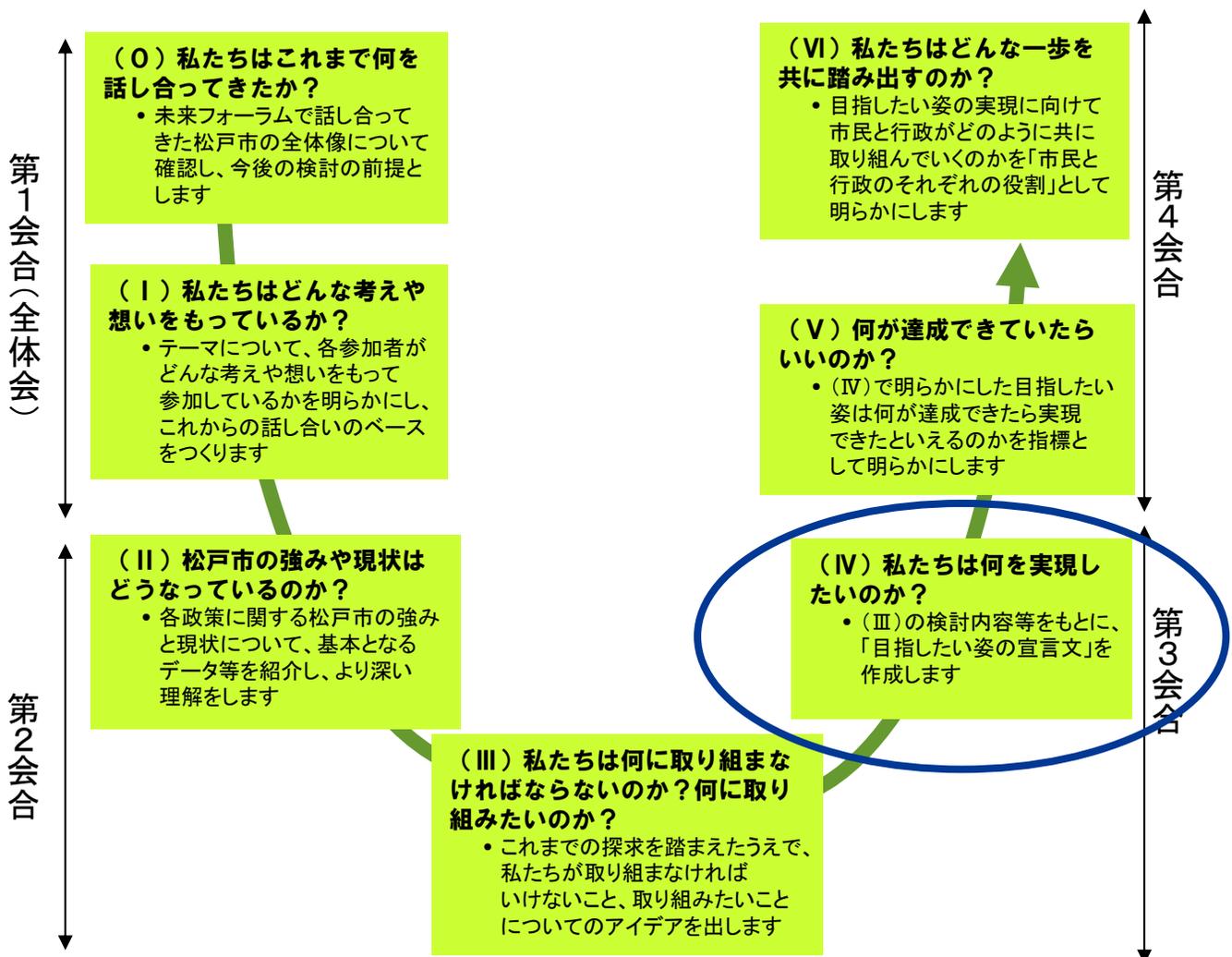
お名前: _____

第3回のねらい

・「目指したい姿の宣言文」の検討

- ここまで話し合い、学んできたことをもとに、各政策ごとの「目指したい姿の宣言文」を検討します

未来づくり会議で探求を深めるプロセス



第3回の内容・進め方

- 内容

- オリエンテーション

- ねらい、進め方の確認
 - チェックイン

1. これまでの話し合いの振り返り
2. 「目指したい姿の宣言文」素材検討
3. 「目指したい姿の宣言文」の作成
4. 「目指したい姿の宣言文」を通しての対話
5. チェックアウト

- 話し合いのルール

- 全ての意見に価値を置く
 - 人の話をよく聴く
 - 想いや考えは全体で共有する
 - 時間厳守
 - 未来に焦点をあてる

チェックイン

- 「今の正直な気持ち」や「気になっていること」などを一言、1分以内で話してください
 - 順番を決めないで、話したいと思った人から始めます
 - 人の発言に対して、質問したり突っ込んだりしないでください
 - 無理に笑わせたり、受けねらいに走る必要はありません
 - 素直な発言によって、相手をありのままに受け入れやすくなります

「目指したい姿の宣言文」について

- 「目指したい姿の宣言文」とは
 - 各政策について、どんな状態を実現したいのかを具体的に想起させる宣言文
 - 例
 - ○○のために、○○をすることで、○○を生み出します
 - ○○が○○になっていることで、○○を実現します
 - ……
- 「目指したい姿の宣言文」を作成するねらい
 - 各政策が、具体的にどんな状態を実現していきたいのかを明らかにできます
 - 目指したい姿を示すことで、計画を読んだ人々に次のような喚起させることができます
 - 各政策が何を目指しているのか
 - 現実的に達成したい状態に到達するために、何をどう変えたいか
 - 委員皆で宣言文を考えることにより、これまで共有してきた各自の想いを統合し、私たちが本気で目指したい姿を描くことができます
- 宣言文作成のポイント(条件)
 - わくわくする、前向きになれる、心に響く
 - 刺激的、挑戦的、現状を破っているものにする
 - 松戸市の人々皆が望んでいるものにする
 - 個別の施策ではなく、それらを通じて何を實現したいのかを明らかにしたものとする
 - 誰が読んでもわかる
 - 肯定的な言葉で描く
 - 松戸の強みを活かしたものにする
 - 地に足がついていて、かつ理想の状態を描く

1. これまでの話し合いの振り返り

- 目的

- これまで話し合ってきたことを振り返り、「目指したい姿の宣言文」を検討する準備を行う

- 進め方

- 個人の振り返りの時間を取ります（5分程度）
- これまで話し合ったアウトプットや議事録に目を通しながら、改めて未来フォーラムや未来づくり会議で何を自分たちが話し合ってきたのかについて、静かに振り返って考えてみてください
 - 必要があれば、特に重要なポイントなどに線を引くなどしてみてください

2. 「目指したい姿の宣言文」素材検討

- 目的
 - 「目指したい姿の宣言文」を検討するための素材を検討する
- 進め方
 - 個人検討(10~15分程度)
 - 各政策について、自分たちが何を実現したいのかを念頭に置きながら、「目指したい姿の宣言文」を構成する言葉の素材を考えます
 - 具体的には、各政策について、以下の観点を参照にして、自由にキーワード(単語、語句)を考え、ポストイットに1件1葉で書いてみてください
 - 【観点の例】
 - 「目的」: ...に向けて ...のために
 - 「手段」: ...を通して ...をすることで
 - 「成果」: ...を実現する ...を生み出す
 - ※必ずしもこの観点到当てはまらないキーワードでもOKです
 - 最終的に、これらのキーワードをまとめたり、つないだりして、宣言文を作成します
 - キーワードはいくつ書いていただいても結構です
 - 所定の時間内に、担当する全ての政策について素材を出さなくてもかまいません。特に自身の関心が高いところから始めていただき、時間内で出来る範囲で作成してみてください
 - もし、同じキーワードで2つ以上の政策にあてはまりそうなものがあつたら、両方に書いてください
 - グループ共有(2分程度)
 - 個人で作成した素材を模造紙に下記の要領で貼り出し、共有します

目的 (...に向けて、 ...のために)	手段 ...を通して、 ...をすることで)	成果 (...を実現する、 ...を生み出す)	その他
 	 	 	 
 	 	 	
 		 	
 		 	

検討する政策の選定・順序の確認

- 進め方

- 政策数が4つ以上の分科会の場合

- 限られた時間の中で、効果的に検討を進めるために、本日の分科会内で「目指したい姿の宣言文」を検討する政策数は、最大で3つまでとします
 - 各政策に貼り出されたポストイットの量やこれまで話し合ってきた課題意識などのアウトプットをもとに、委員の関心度合いを確かめ、特に関心の高いものを3つ程度選びます。また検討する順番も決めます
 - 残りの政策については、皆さんに出してもらったキーワードをもとに事務局で案を検討し、次回確認してもらうことにします

- ※政策数も多いので、未来づくり会議では全ての政策について完全に網羅することは目指していません

- ※もし事務局以外に、自分で案を考えてみたいという方がいらっしゃいましたら、最後におっしゃってください。ご協力いただければと思います

- 政策数が3つ以下の分科会の場合

- 各政策に貼り出されたポストイットの量やこれまで話し合ってきた課題意識などのアウトプットをもとに、委員の関心度合いを確かめ、検討する順番を決めます

3. 「目指したい姿の宣言文」の作成

- 目的
 - 素材をもとに、政策ごとに「目指したい姿の宣言文」を作成します
- 進め方
 - 政策ごとにキーワードを整理し、宣言文を作成します(1政策30分程度)
 - 検討する政策について出されたキーワードが貼られた模造紙を、全員が見える位置に移動します
 - 模造紙を見ながら、改めて「どんな状態を目指したいのか」について話し合いながら検討を進めます
 - 宣言文は各政策ごとに原則1つとします。ただし、どうしてもまとまりきらない場合については、2つ作成してもよいことにします
 - 検討の進め方はお任せしますが、「目的」「手段」「成果」ごとに順番に検討し、まとまったらひとつずつ書き表していくと進めやすいかもしれません
 - 検討の際には、次の問いをお互いに投げかけあいながら進めると効果的です

【宣言文作成を促進する問いかけ】

- このキーワードとこのキーワードをくると何かの言葉になりますか？
- このキーワードのグループを代表する言葉は、この中にありますか？
- これで言いたいことが伝わりますか？
- これで心に響きますか？腹落ちしますか？
- 何か他に言葉はありますか？

- 宣言文が次のポイントをカバーしているかを確認してください

【宣言文作成のポイント(条件)】

- わくわくする、前向きになれる、心に響く
- 刺激的、挑戦的、現状を破っているものにする
- 松戸市の人々みな望んでいるものにする
- 個別の施策ではなく、それらを通じて何を実現したいのかを明らかにしたものとする
- 誰が読んでもわかる
- 肯定的な言葉で描く
- 松戸の強みを活かしたものにする
- 地に足がついていて、かつ理想の状態を描く

- 宣言文が完成したら、模造紙に書き表してください。なお「てにをは」の修正など、後でも修正できる細かいところは気にせず、ある程度皆さんの中で納得のいくものが出来たら先に進んでください

4. 「目指したい姿の宣言文」を通しての対話

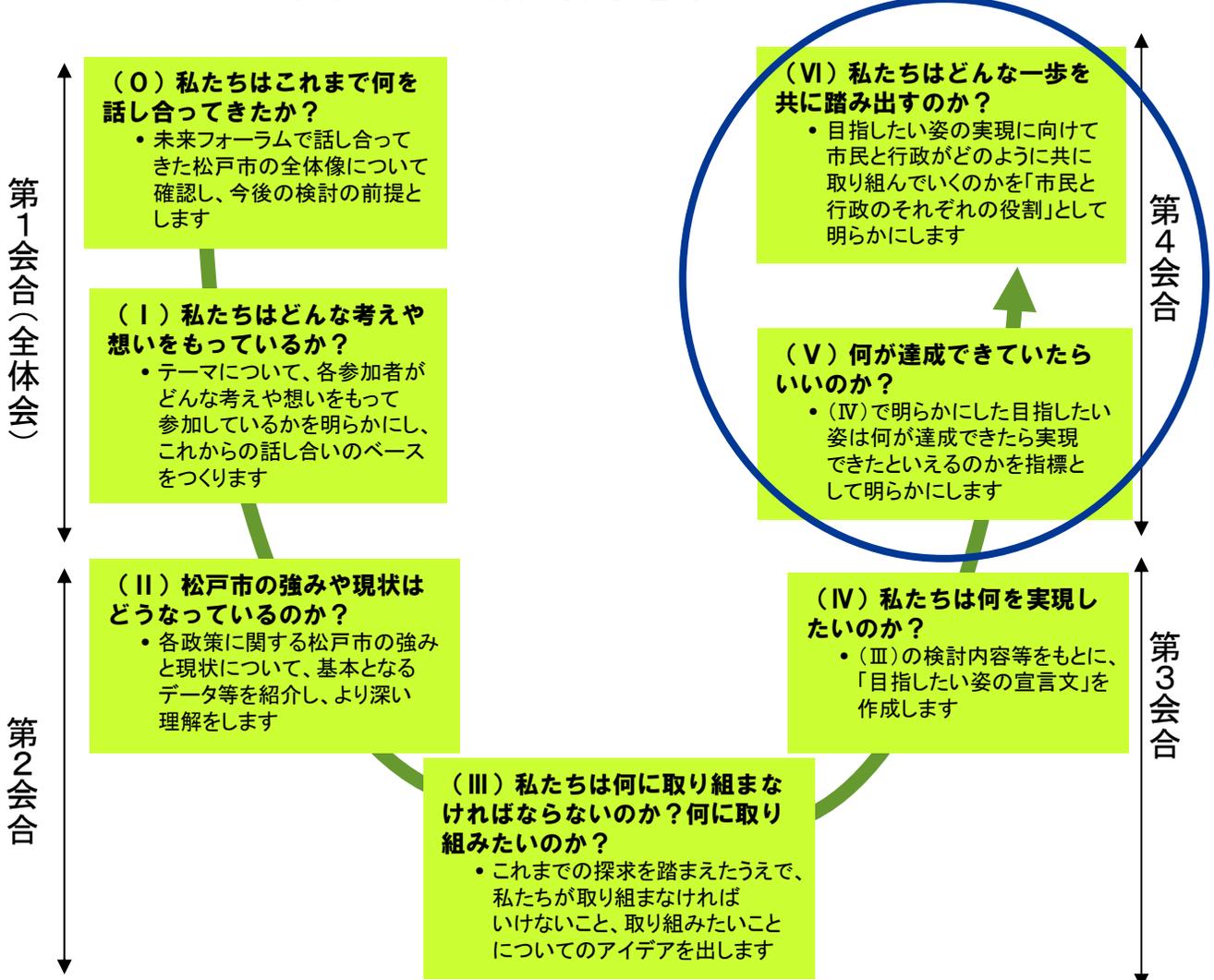
- 目的
 - 「目指したい姿の宣言文」を通して、改めて自分たちが実現したい状態について、対話を深める
- 進め方
 - 各政策の「目指したい姿の宣言文」(案)が完成し、時間に余裕があれば、作成したものを見ながら、自由に感想などを話し合います

次回(第4回)について

- 次回(第4回)は・・・

- 本日検討した「目指したい姿の宣言文」を踏まえて、「指標」と「市民と行政のそれぞれの役割」を検討します

未来づくり会議で探求を深めるプロセス



5. チェックアウト

- 今日の感想を一言